

令和6年度第1回成田市学区審議会 会議概要

1 開催日時

令和6年7月8日（月） 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所3階第二応接室

3 出席者

（委員）

江邨委員、村田委員、内田委員、篠崎委員、津守委員、坂内委員、石毛委員、及び谷平委員

（事務局）

関川教育長、小川教育部長、川名部教育総務課長、井上学務課長、益田学務課副参事、米塚学務課管理主事及び井上学務課管理主事

4 議題

報告第1号 小規模特認校の状況について

報告第2号 指定学校変更・区域外就学の状況について

その他

5 議事(要旨)

報告第1号 小規模特認校の状況について

（要旨）

令和6年6月1日現在、小規模特認校制度による指定学校変更での豊住小学校在籍児童数は17名。令和5年度末に実施したアンケート結果をもとに、豊住小学校の現状について報告。

石毛委員：各種検定への積極的な取組ということが特色として挙げられているが、数値的な結果として効果は表れているのか。

事務局：数値的なものに関しては把握していないが、検定に向けて意欲的に学習しようとする児童が増えたということは聞いている。

谷平委員：小規模特認校制度を使って通っている子どもたちは中学校に上がるときにはどの中学校に進学するのか。

事務局：原則としては居住地の学校にということだが、指定学校変更の要件の中に友人関係の継続というがあるので、希望があれば豊住の学区である成田中にそのまま進学することも可能としている。

報告第2号 指定学校変更・区域外就学の状況について

（要旨）

現在、成田市全体で、指定学校変更・区域外就学をしている児童生徒数の人数は、合計620名であった。

津守委員：今後、ニュータウン地区の小学校の児童数の減少が目立つ。児童数の減少によって発生するメリット、デメリットはあるのか。

事務局：子どもには不利益がないように学校運営上の配慮は児童が多くても少なくても同じようにしていく。教育委員会として、学校の課題に取り組んでいくという努力点は変わらない。ただ、人数が減ってくるというところで一般的に言われるのは、減りすぎてしまうとそのことで、ある程度の規模の学校に変わりたいというようなことが出てくる可能性はある。そうなった場合には様々な検討が必要になると考えている。

その他

（委員からの提案等は、なし）

6 傍聴

（１）傍聴者 ０名

7 次回開催日時（予定）

令和６年度第２回学区審議会 令和６年１１月上旬開催予定